

令和 3 年 度

事 業 報 告

社会福祉法人 むつみ福祉会

新入ひまわりこども園

5歳	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
計	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156

2・3号認定 (直方市)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	11(4)	12(3)	13(1)	13(1)	13	15	15	16	16	16	16	16	172(9)
1歳	24(3)	24(3)	24(3)	24(3)	24(4)	24(4)	24(4)	24(4)	24(5)	24(4)	24(4)	24(4)	288(45)
2歳	26(3)	26(3)	26(2)	26(2)	26(1)	26(2)	26(2)	26(2)	26(2)	26(2)	26	26	312(21)
3歳	28(1)	27(1)	27(1)	27(1)	27(1)	27	27(1)	27(1)	27(2)	27(1)	27(1)	27(1)	325(12)
4歳	27	27	27	27(1)	27(1)	27(1)	27(2)	27(2)	27(3)	27(2)	27(2)	27(2)	324(16)
5歳	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	24	292
計	141	141	142	142	141	143	143	144	144	144	144	144	1713 (103)

() 内は短時間児童数

(3) 補助金等

令和3年度	補助金	300,000円
	延長保育事業	
	(1時間延長人数月平均1.9人)	
	一時預かり事業	400,000円
	一時預かり事業(鞍手町)	33,000円
	保育体制強化	1,000,000円
	多子世帯給食補助	193,500円
	新型コロナウイルス感染症対策支援(保育環境改善)	500,000円
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策(延長保育)	250,000円
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策(一時預かり)	300,000円
	寄付金	30,000円

(4) 施設及び設備の整備実績

(備品等)

・バイオクッション(5.5M)	156,200円
・バイオクッション(4M)	113,300円
・アルミワンタッチテント	222,200円
・サーマルカメラ	242,000円
・空気清浄機 1台	179,600円
・空気清浄機 2台	359,200円

(設備整備)

・ホール床工事(追い張り)	2,420,000円
・空調機器電源改修工事	269,500円
・門取替工事(門扉)	101,200円
・建具修繕工事(事務室、休憩室)	110,000円
・空調機修繕(りす)	121,000円

(5) 職員会議及び職員研修等の実績

- ・職員会議 月1回実施 ・園内研修 月1回実施
新型コロナウイルス感染拡大防止のため代表者会議等で運用
- ・県外(宿泊)研修実績
新型コロナウイルス感染拡大のため派遣せず
- ・キャリアアップ研修
24講座履修

(6) 苦情等解決機関の設置と実績

意見・要望等受付担当者	副園長	西尾 祐子
意見・要望等の相談解決責任者	園長	日野 智
第三者委員		村上 由美子
第三者委員		松尾 正照

- ・令和3年度の実績
第三者委員に対する意見・要望等はなかった。
- ・アンケート調査等について
コロナ禍で、行事が自粛・縮小されたため、保護者の意見・要望を聞く機会がほとんど持てなかった。

令和3年度新入ひまわりこども園教育・保育事業報告

■教育・保育理念

社会福祉法人むつみ福祉会の運営する新入ひまわりこども園は義務教育及びその後の教育の基礎を培うと共に、児童福祉法に基づき「保育に欠ける」乳幼児の心身の発達を助長し、養護と教育が一体となって豊かな人間性を健やかに育成する。

教育・保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し児童の最善の利益のために、家庭や地域社会と連携を図り、職員一丸となって家庭援助を行うと共に児童の福祉を積極的に増進するように努め、子育て支援に貢献する。

■教育・保育目標

“心もからだものびのびと”

- 元気な心と体を持つ子
- 自分の友だちも大切にできる子ども
- 好きな遊びをして自身の持てる子ども
- 最後までやりとげる子ども

子どもの最善の利益を考慮し

保護者と共に子育てのよろこびを共感しあい

一人一人を大切にしたい教育・保育をしています。

■令和3年度の反省

- 1 コロナ禍での保育が2年目となり、感染予防を踏まえた上での保育も工夫しながら取り組むことができた。しかし、オミクロン株の感染拡大により昨年度よりさらに行事の進め方が難しくなり、子どもたちの成長を止ることなく、また保護者も満足できる行事をいかに作っていくか考えさせられた一年であった。

- 2 令和3年度の事故(怪我)の件数は26件であった。そのうち1件が年中児が渡り棒から落ち左ひじを骨折するという大怪我であった。今後も経過観察をしていくことになっている。保育中の怪我をいかに少なくしていくかを検証し、共通理解していかなければならない。
- 3 中間市で起きた送迎バスの児童死亡事故を踏まえ、安全管理をさらに強化するために、園バス運行マニュアルの作成やチェック表記入を始めた。が、県の「安全管理重要監査チェックシート」を見ても当園の安全管理の甘さが浮き彫りになり、職員の意識も含め今後の大きな課題となっている。

むつみ福祉会における現状と課題

教育・保育については、1年の反省で上げた課題を今後どのように解決していくかにかかっている。また、組織化については副主幹教諭が少しずつ機能してきたことは喜ばしい変化と考える。

令和3年度から社会福祉法人豊徳会との連携がさらに強化されるため、当法人のコンプライアンスとガバナンスの強化をさらに推し進めていきたい。

1 事業方針について

① 入所児童数について

入所児童数については引き続き順調であった。見学者も緊急事態宣言期間を除いては毎月多くの希望があり、4年度の入園につながったのではないかとみられる。

この間にも直方市の少子化はどんどん進んでおり、今後のカギを握る教育・保育の質の向上について職員にもしっかり認識してもらいたい。

② 特別保育事業

乳児保育

事業目的：乳児を受け入れ保護者が安心して働き続けるためと子どもの発達保障を目的とする

延長保育 通常保育時間（11時間）を超えて実施する保育事業

短時間保育（8時半から16時半）を超えて実施する保育事業

事業目的：保護者の就労時間形態の変化に伴い、主に保育時間を19時まで延長し対応する

2 研修会について

コロナ禍のため、対面での研修はほとんど中止となり、オンラインによる研修が主流となった。

ほぼ全員の職員がオンライン研修を受け、キャリアアップ研修ではほとんどの正規職員が4科目を受講した。また、園内研修として行ったチャイルド社の「保育者同士のチームワークを高めるために」の研修では、臨時職員も受講し、普段研修を受けることがない職員も受講できたことはオンライン研修ならではの利点であった。

3 健康管理について

コロナ感染対策に明け暮れる一年であった。子どもたちの健康チェック表の記入を保護者にしてもらい、発熱などの体調不良には特に気を配った。玩具や部屋の消毒も毎日行い、3、4、5歳児はマスク着用での生活が強いられた。2月には年中クラスが一週間の学級閉鎖となったが、保護者の協力により感染拡大は避けられた。

4 交通安全等について

交通安全教室を直方警察署交通課に依頼し、交通協会から講師を派遣してもらった。（7月2日）

また、保育活動や園外活動を行うときに子どもたちに交通ルールを教えることによって、知識と経験を培っている。

5 地域交流について

地域交流もコロナ禍の中、ほとんど自粛せざるを得なかった。

子育て支援クラブ“くれよんくらぶ”もまん延防止等の措置を鑑みながら、開催と中断を交互に行っていた。

また、新入小学校等との交流もなかなかうまくできずに一年が過ぎた。

6 施設整備について

直方市との間で改築の話が進み、令和4年度着工に向け、法人、職員、佐伯建設から構成されるプロジェクトチームで協議を重ねている。

中長期計画の進捗状況

中期計画については、社会福祉法人豊徳会との連携を優先し、その中で長期計画も含めて見直しを行っていききたい。

令和3年度行事報告

月	こども園行事	月	保護者会行事
4月1日	進級・入園式(縮小) チューリップフェア(中止) いちご狩り(中止) 内科検診(延期)		
5月11日	歯科検診(延期)		
7月 2日 13日 16日 15日 27日 31日	交通安全教室 プール開き お泊まり保育(日帰り) 内科検診 歯科検診 個人懇談会(0, 1, 2歳児)	31日	懇談
8月 7日	個人懇談会(3, 4, 5歳児)	7日	懇談
10月 3日 12日 20日	運動会(4, 5歳児のみ) 内科検診 歯科検診	10月28日	おまつりごっこ(景品ののみ)
11月 1日 3日 4日 8日 9日 10日 27日	芋掘り 下新入熟年の集い(中止) 七五三参り 保育参観 〃 〃 作品展・個人懇談会	11月 1日 8日 9日 10日 27日	芋掘り 参加協力 参観 〃 〃 作品展・懇談
12月 4日	もちつき(中止) クリスマス会		
2月 3日 5日	節分 生活発表会(中止)		
3月 8日 24日 26日	写真撮影 ぞう組音楽会 卒園式	3月24日	音楽会